

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す

田辺中だより

No.9 令和7年1月7日発行

京田辺市立田辺中学校

京田辺市興戸北鉾立2 1 番地

TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

学校ホームページURL【<https://www.kyotanabe.ed.jp/nc3/tanabe-jh/>】

思春期の子どもとの向き合い方

通級担当 下川正美

新年あけましておめでとうございます。いよいよ3学期が始まりました。

さて、最近の科学ではっきりしてきたのが、人間は、感じ方、受け止め方、理解の仕方、理解したことを発信する仕方などが、一人一人違うということです。同じことを学ぶにしても、ある人は言葉で理論的に理解するのが良い、ある人はそれを耳で聴いた方が良い、ある人は文字で読んだ方が良いのです。また、理論より絵や図、具体物を動かして理解する方が良い人もいます。

親は自分の子どもの成長を願い様々な声掛けを行います。しかし、なかなか伝わらないこともあるのではないのでしょうか。そんな時には、上記のような個々の理解の仕方の違いを踏まえて考えてみてはどうでしょうか。もしかしたら、理解しているように見えてもできていないのかもしれないし、そもそも聞いていないのかもしれない。また、聞いて理解していても、関心が持てないのかもしれない。気になるものが周囲にあることで集中できず、言葉が伝わっていない可能性もあります。

子どもにより、受け止め方や理解の仕方が違うわけですから、その子に合った方法で伝えることが大切になってきます。静かで刺激のない中で話す方が伝わるのなら、環境を整えてから話してあげることが効果的です。理解しにくいのであれば、その子に合った言葉で伝えなくてはなりません。聞くだけだとすぐに忘れてしまう子どもには、メモなどを添えてあげると良いでしょう。

しかし思春期には、その声かけそのものが難しく、親子関係がぎくしゃくする時があります。親と子の関係をプラスのサイクルで回すには、褒める・認めることが有効です。子どもは褒められることで、自己肯定感も高まります。具体的にどのような点がどう良かったかが伝わるように、簡潔に褒めます。そうすることで、「親は自分のことを理解してくれている」と感じることができます。また、思春期以降は、さらりと褒め、認めることも効果的と言われています。中学校では、挑戦しなくてはならない場面が多々あります。お子さんが、自分で目標を立てて、新しいことに挑戦するときには、そのこと自体を認め、励ましてみてください。そして見守りましょう。

しかし、注意しなくてはならないことばかりに目がいってしまい、褒めるのが難しいという方もおられるかもしれません。そのような方は、お子さんへの見方、声かけを変えてみてはどうでしょうか。例えば、いつも家の中で騒がしいお子さんには、「うるさい。」と注意をすることが多いと思います。そのようなときは、「元気で明るく、にぎやかでいいけど、今は静かにするときなので、静かにして。」と、一言添えてみてはどうでしょうか。騒がしいお子さんは視点を変えると、元気で明るく、活気に満ちたお子さんなのです。また、自分勝手に見えるお子さんには「周りに流されず、自分の意見や考えを主張できるのはいいところだけど、周りにも目を向けてほしいな。」などの声掛けはどうでしょうか。本人を認めつつも、大切なことは伝える。このような声掛けの中で、お互いの関係がプラスに転じるのではないのでしょうか。

子どもたちは一人一人違います。成長もそれぞれです。得意、不得意も違います。自分の感じ方、受け止め方、理解の仕方などを知り、受け入れていく作業はなかなか大変です。その中で、自分のことを認め褒めてくれる存在は、子どもたちにとって大きな励ましになります。大切なことは、それぞれの子どもたち自身が幸せな人生を歩むことです。親も教師も子どもたちの成長を見守りつつ、励ましとなる存在でありたいものです。



今後の予定

1月 7日 (火)	始業式 身体測定 PTA 本部役員選挙告示
1月 8日 (水)	給食開始
1月 9日 (木)	PTA 本部運営委員会
1月 15日 (水)	PTA 登校指導
1月 16日 (木)	PTA 第2回選挙管理委員会
1月 17日 (金)	防災教育 PTA 本部役員選挙投票
1月 20日 (月)	一斉委員会
1月 21日 (火)	3年生 学年末テスト
1月 22日 (水)	韓国招へいプログラム
1月 23日 (木)	PTA 第3回選挙管理委員会
1月 27日 (月)	PTA 地域委員・選挙管理委員会選挙告示
1月 31日 (金)	PTA 地域委員・選挙管理委員会選挙投票

第33回京田辺市子どもの主張大会

12月1日(日)京田辺市中央公民館で京田辺市子どもの主張大会が行われ、本校2年生の矢口真鈴さんが自らの体験をもとに笑顔の大切さについて主張しました。「笑顔の力」と題して、誰もが心の底から笑って過ごすためには、安心できる空間をつくるのが大切だと伝えています。そして世界中が笑顔であふれ、明かりをとすように笑顔の花が咲いてくれたら…と願っていました。



令和6年度生徒会心もち運動 清掃活動

田辺中学校の伝統の中に「心もち運動」があります。コロナ禍で、近年は福祉施設訪問や古タオル回収などのボランティア活動ができず、募金活動のみを行っていました。今年は、生徒会本部役員の働きかけで何かもっとできることはないか、と模索していました。そこで、募金と校外清掃活動のボランティア活動を進めることにしました。



生徒会本部役員からは、ボランティア活動を通じて、住みよい社会作りや地域や日本、世界に目を向けて情勢への関心を高められたらというねらいをもって取り組みました。今回は、部活動ごとに行く場所を分担しました。第1弾は12月9・10日に行いました。短時間でしたが、たくさんのごみを拾うことができました。町をきれいにすることで、心も美しくなりました。第2弾は1月30・31日を予定しています。挨拶運動もかねて行います。



ネットトラブル対策講座 2年生

12月10日(火)に、京都府警ネット安心アドバイザーの方にお越しいただき、インターネット使用上の危険性や情報モラル等についての正しい知識を獲得し、タブレットやスマートフォン等を健全に使えるようになるために、体験型講習を受けました。実際にタブレットを用いて、指示に従って操作を進めたり、課題を発見したりしながら、インターネットに潜む危険性を考えました。

SNSで使われている写真投稿にはどんな危険性があるのか。また、何気なく個人情報を不特定の人にさらしてしまっている可能性がないかなどを自分事として捉えることができる学習でした。



田辺中生頑張っています！！

2 学期終業式表彰

第 12 回 小論文コンクール 文集作品の部 優秀賞
個人作品の部

優秀賞 2 年 葦田 悠羽「翻訳作品の違和感」

第 74 回 社会を明るくする運動に於ける作文コンテスト

京都府推進委員会委員長（京都府知事）賞 3 年 川本 陽也「その一言で」

第 54 回 全国教育書道展

文部科学大臣賞

1 年 北村 梨愛

第 67 回 JA 共済京都府小中学生書道コンクール

半紙 京都府農業協同組合中央会会長賞 2 年 中井 健太

条幅 全国共済農業協同組合連合会京都府本部長賞・金賞 3 年 谷 凜子

半紙 全国共済農業協同組合連合会京都府本部長賞・金賞 3 年 北村 虹太朗

条幅 全国共済農業協同組合連合会京都府本部長賞・銀賞 1 年 北村 梨愛

半紙 全国共済農業協同組合連合会京都府本部長賞・銀賞 1 年 津野 倫花

条幅 全国共済農業協同組合連合会京都府本部長賞・銅賞 2 年 伊東 亮輔

第 92 回 全国書画展覧会書の部

筆都大賞 1 年 北村 梨愛

金賞 3 年 谷 凜子 北村 虹太朗 梅本 莉沙

銀賞 3 年 嶋岡 楓人

第 35 回 伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 佳作 2 年 野村 拓哉

第 46 回 少年の主張京都府大会 佳作 2 年 中島 友利

第 18 回 京都市日吉ヶ丘高等学校レシテーションコンテスト 銅賞 2 年 上田 愛果

令和 6 年度 産経ジュニア書道コンクール 産経新聞社賞 1 年 北村 梨愛

令和 6 年度 中学生の「税についての作文」

宇治納税貯蓄組合連合会会長賞 3 年 森田 文音「税理士さんの話を聞いて感じたこと」

京田辺市長賞 3 年 野仲 紗永「税金と幸福な社会」

令和 6 年度 全国中学生人権作文コンテスト京都大会

佳作 3 年 久野 柑太

令和 6 年度 京都新聞小・中学生新聞コンクール 2024

佳作 2 年 大石 莉央「インターネット新聞－SNS に潜む危険－」

2 年 竹本 圭佑「膝と骨新聞」

2 年 野村 穂乃花「京田辺クラフトビール新聞」

令和 6 年度 日本漢字能力検定 団体内表彰

最優秀賞 1 年 小島 凌央 3 年 佐野 彩乃

優秀賞 1 年 吉川 之子 竹内 明哉斗 2 年 林 千夏 葦田 悠羽

3 年 山本 凌太郎 八杉 爽花

努力賞 1 年 野秋 和奏 上田 佳織

2 年 林辻 諒 杉井 綾香 吉田 奈々美

3 年 村上 蓮 橘高 結哉 森山 恵悟 中川 出海 西川 瑞姫

第 57 回 京都府アンサンブルコンテスト 金賞 木管八重奏「鬼姫〜ある美しき幻影〜」

田辺中学校 吹奏楽部 中村 梨詩 西澤 未由 宮田 二千花 歌川 遥哉 今井 莉緒

北川 結優 大槻 蒼 中路 育利

第 32 回 宇治市バスケットボール協会長杯

優勝 女子バスケットボール部 第 3 位 男子バスケットボール部

令和 6 年度 山城地方新人剣道練習大会 女子団体の部

第 3 位

令和 6 年度 山城新人大会兼近畿中学生ソフトテニス選抜インドア大会山城予選会 女子団体

第 3 位

第 27 回 京都府中学生ソフトテニス選抜 1 年生大会山城予選会 女子個人の部

第 3 位 大槻・垂水ペア

令和 6 年度 京都府ソフトテニスフェスティバル南部ジュニア大会 女子団体 準優勝

小林 侑楽 柴原 うみ 橋川 知歩 北尾 逢菜 徳永 遥 田中 愛夏 吉本 真優

令和 6 年度 八幡市中学校市内大会 バドミントン

男子シングルス A 級 第 3 位 豊田 優飛

男子シングルス B 級 第 3 位 藤村 康生 北川 渚翔

男子ダブルス 第 1 位 植梶 亨人・中江 朔玖ペア

第 3 位 友田 航太朗・宮腰 泰地ペア

女子シングルス A 級 第 3 位 野口 新心

女子ダブルス 第 2 位 岩上 風羽・和高 咲希ペア

第 3 位 西尾 桜帆・溝川 美優ペア

第 26 回 京都府中学生新人バドミントン大会

女子シングルス A 級 第 3 位 折井 礼佳

授業にお邪魔しました

2 年 5 組 中植学級

12 月 4 日（水）5 校時 5 組の理科の授業にお邪魔しました。「モーターの仕組みを理解しよう」というめあてで自分たちでモーターを作る実験を行っていました。実際にモーターを作る工程で、工夫するとモーターがもっと早く回転することができるそうです。そこにモーターが回る仕組みが隠されているようです。



5 組の学級目標は「五輪」。ちょうどオリンピックの年でもあったので、五輪の五つの輪に「団結力、協力」などのつきたい力を考え、「2 年生になっても協力し、たくましくなって 3 年生につなげる」という目標を達成したい思いを込めました。2 年生も後半戦。現在の達成度を三役さんに聞くと、まだ 60% だそう。合唱コンクールや体育大会はこの目標に近づき、仲良く過ごすことができたが、まだ日常のベル着ベル準は完璧ではないので、3 年生になるまでに、落ち着いてよく考え、行動できる準備をしたいと三役さんは考えていました。



学校行事を含め学校生活の様子等を学校のホームページに毎日更新しています。学年からの発信もありますので、「いいね」ボタンを押していただきますと学校の励みになります。よろしくお願いいたします。

